

令和5年度第2回

武蔵村山市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会

日 時：令和5年7月28日（金）

午前10時から

場 所：さくらホール（市民会館）

展示室

	内 容
報 告	○ 所管課職員の出席について
議 題	1 令和4年度末におけるまち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について 2 その他

※ 資料は、第1回の資料を引き続き使用します。

議題 1 令和 4 年度末におけるまち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について

- 別添資料 1 「第二期まち・ひと・しごと創生総合戦略実績報告書(令和 4 年度)【概要】」及び別添資料 2 「第二期まち・ひと・しごと創生総合戦略実績報告書(令和 4 年度)」参照

議題 2 その他

Blank lined area for notes or discussion.

第1回まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会における質問及び回答

No.	実績報告 ページ	事業名称等	所管課	質問事項等	回答
1	8,9	認定農業者数 体験型市民農園の開設 援農ボランティア制度	産業観光課	各事業にて、高齢化が課題とされており、かなり高齢者に頼っていると思われる部分もある。 今後、高齢者も身体的に限界が来るということを考えると、やはり若い世代の農業に関わる、あるいは関心をもってもらい機会を作るといことも大事ではないかと考えるが、何か検討していることなどはあるか。	農業の担い手については、高齢化が全国的に課題となっており、農地を保全する側面からも担い手の確保が重要となってきた。そういった中で、市では新規就農者の経営の確立に向けて国の「新規就農者育成総合対策事業」を活用した支援を行いながら、市単独補助金としても「新規就農者対策補助金」を交付し、農業の担い手となる認定農業者への育成に努めている。 また、若い世代については、農業体験（水田学習、職場体験）等、それ以外の方については、援農ボランティア制度や体験型市民農園などの事業を通じて農業に関わる機会を確保していきたい。 さらに、新たに就農を希望する方には、東京都農業会議を通じて就農に向けた支援（相談等）を行っている。